

# ZONING

AUGUST 2002

VOL.  
ZONING  
INFORMATION NEWS

# 25

禁無断複写転載 © 2002. A.C.P.C.

## topic 役員再任にあたって



インタビューー: 野地秩嘉

——永田さんは最初の任意団体、井上さんの頃から活動には参加していたんですね。

永田:していました。一番初めの仕事がACPCを社団化するということ。

——会長が永田さんになって一番変わったことというのは、委嘱理事の導入ですか？

永田:そうですね。公益法人を目指すのか中間法人になるのかという、社団法人の在り方を国全体で考えている中で、ACPCは公益法人としての活動を選んだということですね。

——それはどうしてですか？

永田:やはり社団法人には業界整備や社会貢献という役割があり、中間法人になってしまうと普通の会社とどう違うのかという気がしたものですから。

——委嘱理事の人選がユニークですね。

永田:2年前、一期目の会長就任時には、これからやっていきたい事業を考えた中で、この事業にはこの方が必要だろうという考え方の中で、事業別に選んだというのが基本ですね。

——やっぱり実務型、意味のある委嘱理事を

選んでいるということですか。

永田:結果的には時間がかかっている部分もあるんですが、こういう特殊な団体に慣れていただいて、少しずつ形になっていったということだと思います。

——2年間でなされたことというのは、JASRACとの団体協定の他には。

永田:「IT時代のチケット基本構想」ということを音制連と音事協、コンテンツに一番近い団体と一緒にACPC含めて音楽3団体で、去年5回くらい委員会を開いてやりました。そして、また今期9月くらいから、我々の共通のライブデータベースを作ろうと委員会を始めます。50社近い全国組織ですので、いろいろな考え方があります。

ですから、まずは東京で実験していこうと思っています。まずお客様側に立った時に、いろんなプレイガイドにしてもそうだし、WEB上で扱ったりしているところもいっぱいありますし、それ以外にも数限りなくいろいろな形態で扱っているわけですね。そ

うすると、チケットが一体どこに残っているのかわからないと思うんですよ。我々は初めにお客様の利便性ということを考えて、いろんなところにチケットを置いていったんですけども、現実問題としては全て互換性がないということで、キャンセルの問題なんかもあって、チケットが売り切れてもわからないんですよ。

また、現在はデータベースがコンテンツ側に自由に使えなくなってしまっている。そうではなくて、音制連、音事協というコンテンツ側とACPCが結びつくことによって、ACPCが出口であるという考え方をしたいなど。

——あるところでは余っているのに、あるところじゃ足りない。

永田:それが瞬時にわかるというのがやっぱり一番いいだろう、それを目指していくべきだと。そして、社団化して10年ということで、今回委嘱理事の方が入ったことによって理事も活性化されたんですけど、あとは若手の方。世代別に言うと第2世代の年齢の方たち。そういう方たちにも参加できるような公益法人にしていけないと、ACPCというものが現実的にどういうことをしているのかということがなかなか伝わりにくいものですから、中に入って一緒に動いたうえで、肌で感じてもらう方がいいんじゃないかということで、いろんな形で委員会を作りながら、活性化していこうと思っているんですけど。

——資格認定制度というのは、要するにライブステージ技術者みたいな。

永田:こういう時代でも我々のビジネスに興味を持っている若い方、これから就職しようという方も、ある程度年代がいった方で街興的なことも含めてやりたいんだという方と、両方いらっしゃるんですね。ですから資格制度的なことから生涯学習みたいなことにも繋がる可能性も秘めているんじゃないかと思っています。あとはACPCのいろんな事業や研究会のスタイルとして、いわゆる産学共同みたいなことを考えて、一番いいのはそこに官が入って、産学官という形の中で研究会及び委員会を進めていって、実現していくという形ができるのが公益法人の強みなんじゃないかと思っています。

# 2002 summer



# OPEN AIR FES

イベント名称	日時	開催地	主な出演アーティスト	会社名
くるり	6月8日	日比谷野外音楽堂	くるり	ホットスタッフ
せんでろチルドレン	6月22日	日比谷野外音楽堂	EGO-WRAPPIN', SHINGO2, ゆらゆら帝国	ホットスタッフ
SION	6月30日	日比谷野外音楽堂	SION	ホットスタッフ
THE BOOM CONCERT TOUR 2002-2003 この空のどこかに	7月6日	中世夢が原お祭り広場	THE BOOM	夢番地
THE BOOM CONCERT TOUR 2002-2003 この空のどこかに	7月7日	米泉湖野外音楽ステージ	THE BOOM	夢番地
ayumi hamasaki STADIUM TOUR 2002 A	7月13日 14日	阪急西宮スタジアム	浜崎あゆみ	キョードー大阪
蓮沼M-714	7月14日	代々木公園野外ステージ	ユーガニズムオーケストラ、GELUGUGU、 SHAKA RABBITS 他	ディスクガレージ
燦RISE	7月14日	服部緑地野外音楽堂	EGO-WRAPPIN', LITTLE TEMPO 他	グリーンズ
LOVE YOU STONES	7月20日	日比谷野外音楽堂	シーナ&ザ・ロケッツ、ダイヤモンド◇ユカイ、 ザ・プライベートツ 他	ザック コーポレーション
羽幌サンセットサマーライブ2002	7月20日	羽幌サンセットサマー ビーチ野外ステージ	KICK THE CAN CREW、RHYMESTER、 MELLOW YELLOW 他	ウエス
B'z LIVE-GYM 2002 GREEN ~GO★FIGHT★WIN~	7月20日	広島ビッグアーチ	B'z	キャンディー プロモーション
SOUND BEACH SUMIE 9'mosh -12 HOURS LIVE-	7月20日	須美江家族旅行村 特設ステージ(延岡市)	九州内インディーズバンド	学音ユニティ・ フェイス
ayumi hamasaki STADIUM TOUR 2002 A	7月20日 21日	豊田スタジアム	浜崎あゆみ	サンデーフォーク
喫茶ロックジャンボリー	7月21日	日比谷野外音楽堂	青山陽一、鈴木茂、ココナッツ・バンク、 小西康陽 他	ザック コーポレーション
山崎まさよしサマーライブ IN 上ノ国	7月21日	上ノ国町夷王山 オープンステージ	山崎まさよし、杏子(ゲスト)、 野狐禅(オープニングアクト)	ウエス
満月の十三祭り	7月24日 25日	東京池上本願寺 野外特設ステージ	喜納昌吉、山口小夜子、ミネ八八、喜多郎 他	キョードー東京
FUJI ROCK FESTIVAL '02	7月26日 27・28日	苗場スキー場	PRODIGY、Muse、Alec Empire 他	ホットスタッフ
SOUND CONIFER 229 「うたまつり in 富士急」	7月27日	富士急ハイランド ゴニファーフォレスト	RAG FAIR、INSPI、チン☆パラ	ディスクガレージ
コカ・コーラプレゼンツ UMK PHOENIX JAM NIGHT 2002	7月27日	フェニックスシーガイア リゾート<イベントスクエア>	中西圭三、Baby Boo、JOYCE 他	学音ユニティ・ フェイス
さぬき市市制記念 小田和正 K.ODA TOUR 2002	7月27日	さぬき市 野外音楽広場テアトロン	小田和正	デューク
さぬき市市制記念 STARDUST REVUE 楽園音楽祭2002	7月27日	さぬき市 野外音楽広場テアトロン	STARDUST REVUE	デューク
KKB鹿児島放送開局20周年記念 SUPER LIVE IN KAGOSHIMA W-inds 1st Live Tour "1st message"	7月27日	鹿児島北埠頭緑地公園	W-inds	K&M コーポレーション
矢井田瞳	7月27日	大阪万博記念公園 もみじ川芝生広場特設会場	矢井田瞳、片岡大志(ゲスト)、 iMOGEN HEAP(ゲスト)	ソーゴー大阪
松任谷由実 SURF&SNOW in Zushi Marina Vol.16	7月27日 28日	逗子マリーナ・ ガーデンプール	松任谷由実	キョードー横浜
The Tug of Rock'n Roll	8月1日	宜野湾市海浜公園屋外劇場	THE HIGH-LOWS、the pillows、 モンゴル800 他	PMエージェンシー
GOD BLESS TRANCE 2002 in びわ湖パレイ	8月2日 3日	びわ湖パレイ	KO KIMURA、SHINKAWA、 ORGANIC NOISE 他	夢番地
vodafone ニューポート・ジャズ・ フェスティバル・イン・斑尾2002	8月2日 3・4日	斑尾高原内野外特設会場	PE'Z、Soulive、Hanz Dulfer 他	キョードー東京
第3回 ちんじゅの森コンサート	8月3日	明治神宮内 森の中特設ステージ	BEGIN、おおたか静流	キョードー東京
情熱大陸 Music Special 葉加瀬太郎 Live	8月3日	よみうりランドEAST	葉加瀬太郎、小曾根真、元ちとせ 他	キョードー東京
岸田敏志 ガーデンコンサート	8月3日	山中湖エッグス&シェイプ スタジオ特設野外ステージ	岸田敏志	キャピタルビレッジ
B'z LIVE-GYM 2002 GREEN ~GO★FIGHT★WIN~	8月3日	静岡スタジアムエコパ	B'z	サンデーフォーク
TUBE LIVE AROUND SPECIAL 2002	8月3日	ナゴヤ球場	TUBE	サンデーフォーク
Augusta Camp 2002	8月4日	千葉マリンスタジアム	杏子、山崎まさよし、スガシカオ 他	フリップサイド
a-nation avex SUMMER FESTA 2002	8月4日	安比高原野外特設会場	浜崎あゆみ、Every Little Thing、 Do As Infinity 他	GIP
ROCK IN JAPAN FESTIVAL 2002	8月9日 10・11日	国営ひたちなか海浜公園	奥田民生、モンゴル800、桑田佳祐 他	ディスクガレージ

# FESTIVAL from A.C.P.C

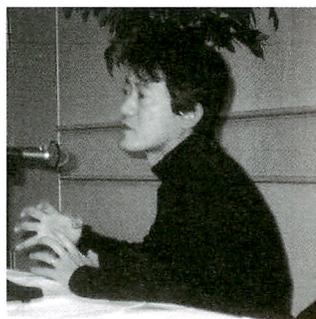
いまや日本のエンタテインメント文化を語るうえで欠かせない存在となった夏の野外イベント。今年はその数・質とも例年以上にスケールアップし、バラエティに富んだ豪華ミュージシャンの競演が繰り広げられる。全国各地で熱く激しく開催される夏のフェスティバルを一挙ラインアップ!

イベント名称	日時	開催地	主な出演アーティスト	会社名
SUBARU Mt.Fuji Jazz Festival 2002	8月9日 10・11日	富士スピードウェイ リヴァース・ステージ	PE'Z、ケイコ・リー、日野皓正 他	キョードー東京
T.M.Revolution	8月10日	WTCオープンエア スタジアム	T.M.Revolution	キョードー大阪
a-nation avex SUMMER FESTA 2002	8月10日	呉港特設野外会場	浜崎あゆみ、Every Little Thing、 Do As Infinity 他	キャンディー プロモーション
うたまつり in 盛岡	8月10日	アピオ産業文化センター 野外特設ステージ	RAG FAIR、INSPI、チン☆パラ	キョードー東北
モーニング娘。CONCERT 2002 夏 "LOVE IS ALIVE!"	8月10日	仙台スポーツランドSUGO	モーニング娘。、ココナッツ娘。、カントリー娘。 他	GIP
フォークジャンボリー2002 in さっぽろ	8月11日	札幌芸術の森野外ステージ	南こうせつ、加川良 with TWINS、杉田二郎 他	ウエス
THE BOOM CONCERT TOUR 2002-2003 この空のどこかに	8月11日	和歌山マリーナシティ 野外特設ステージ	THE BOOM	キョードー大阪
うたまつり in osaka	8月11日	WTCオープンエア スタジアム	RAG FAIR、INSPI、チン☆パラ	キョードー大阪
モーニング娘。CONCERT 2002 夏 "LOVE IS ALIVE!"	8月11日	アピオ産業文化センター 野外特設ステージ	モーニング娘。、ココナッツ娘。、カントリー娘。 他	キョードー東北
美浜海遊祭 STARLIGHT GIG 2002	8月11日	美浜町総合公園グラウンド内 特設会場	松浦亜弥	サンデーフォーク
RISING SUN ROCK FESTIVAL 2002 in EZO	8月16日 17日	石狩湾新港 野外特設ステージ	Dragon Ash、ザ・ハイロウズ、モンゴル800 他	ウエス
THEATRE BROOK	8月17日	日比谷野外音楽堂	THEATRE BROOK	ホットスタッフ
a-nation avex SUMMER FESTA 2002	8月17日	仙台スポーツランドSUGO	浜崎あゆみ、Every Little Thing、 Do As Infinity 他	GIP
Summer Sonic O2 (制作・運営・協力)	8月17日 18日	千葉マリンスタジアム ／幕張メッセ展示場	GUNS N' ROSES、THE OFF SPRING、 モンゴル800 他	バックステージ プロジェクト
Summer Sonic O2	8月17日 18日	WTCオープンエア スタジアム	GUNS N' ROSES、THE OFF SPRING、 モンゴル800 他	キョードー大阪
a-nation avex SUMMER FESTA 2002	8月18日	つま恋多目的広場	浜崎あゆみ、Every Little Thing、 Do As Infinity 他	サンデーフォーク
SET STOCK 2002 youran	8月23日	向島洋らんセンター	玲葉奈、SUPER BUTTER DOG、 SLY TRIBES	夢番地
レゲエ・ジャパン・スブラッシュ'02	8月24日	よみうりランドEAST	BERES HAMMOND、MARCIA GRIFFITHS、 NAHKI 他	キョードー東京
永井龍雲&三浦和人 FRIENDSHIP LIVE	8月24日	山中湖エッグス&シェイプ スタジオ特設野外ステージ	永井龍雲、三浦和人	キャピタルビレッジ
TUBE LIVE AROUND SPECIAL 2002	8月24日	横浜スタジアム	TUBE	フリップサイド
東京JAZZ	8月24日 25日	東京スタジアム	ハービー・ハンコック、マイケル・ブレッカー、 ウエイン・ショーター 他	キョードー東京
a-nation avex SUMMER FESTA 2002	8月24日 25日	WTCオープンエア スタジアム	浜崎あゆみ、Every Little Thing、 Do As Infinity 他	キョードー大阪
GROOVE MISSION 825	8月25日	札幌芸術の森野外ステージ	The Gospellers、Skoop On Somebody、 F.O.H 他	ウエス
満濃池築堤1300年記念事業 MONSTER baSH 2002 supported by J-PHONE	8月25日	国営讃岐まんのう公園内 芝生広場	Dragon Ash、モンゴル800、氣志團 他	デューク
B'z LIVE-GYM 2002 GREEN ~GO★FIGHT★WIN~	8月30日 31日	横浜国際競技場	B'z	キョードー横浜
ウルフルズ	8月31日	万博公園もみじ川芝生広場	ウルフルズ	キョードー大阪
base SUMMER SMILE	8月31日	WTCオープンエア スタジアム	FUJIWARA、シャンプーハット、陣内智則 他	キョードー大阪
FROM S	8月31日	仙台スポーツランドSUGO	小田和正、清貴、坂本サトル 他	GIP
RUSH BALL 2002	9月1日	神戸ポートアイランド メガKobe	奥田民生、東京スカパラダイスオーケストラ、 BUMP OF CHICKEN 他	サウンド クリエイター
RUSH BALL 2002	9月1日	神戸ポートアイランド メガKobe	奥田民生、東京スカパラダイスオーケストラ、 BUMP OF CHICKEN 他	グリーンズ
モーニング娘。CONCERT 2002 夏 "LOVE IS ALIVE!"	9月1日	豊田スタジアム	モーニング娘。、ココナッツ娘。、カントリー娘。 他	サンデーフォーク
モーニング娘。CONCERT 2002 夏 "LOVE IS ALIVE!"	9月7日	三井グリーンランド 野外特設ステージ	モーニング娘。、ココナッツ娘。、カントリー娘。 他	学芸ユニティ フェイス
さぬき市市制記念 THE BOOM CONCERT TOUR 2002-2003 この空のどこかに	9月8日	さぬき市 野外音楽広場テアトロン	THE BOOM	デューク
ONE MAN 30~THE DAY~EIKICHI YAZAWA 30th ANNIVERSARY SPECIAL NIGHT	9月14日	東京スタジアム	矢沢永吉	キョードー横浜
THE BOOM CONCERT TOUR 2002-2003 この空のどこかに	9月16日	太閤山ランド野外劇場	THE BOOM	FOB企画

# 平成13年度A.C.P.C研修会レポート

(2002年3月12日・13日)

過去最高の参加者が集まったA.C.P.C研修会。同じコンサート・プロモーターという職業ながら、各地で抱える課題や仕事に対する意識・取り組みは様々です。プロモーター同士の横のつながりをコンセプトに、参加者の間で交わされた議論が今後の業界発展につながっていくことを予感させた研修会の様子をレポートします。



今回の研修会の参加メンバーをみると、各地バランス良く、平均年齢も30歳くらいで、会社の中でも中核になっている人が多かったと思います(女性の参加も多かったです)。たまたま、ディスクガレージ自体、会社のコンサルティングを受けている途中ということもあり、その手法を取り入れた研修会でした。

まずバス集合して、何も前触れもなくボーリング場へ直行。これは部屋別対抗になっており、堅いイメージを払拭し、リラックスさせることが狙いでした。そして、スペースシャワーネットワーク近藤さんを招いての講習会。その前に、いきなり業界の常識テストを行いました。音楽業界人として、自分自身に問うためのチェックでした。全問正解は0という淋しい結果でした。そして食事の後、3班に分かれてお酒を飲みながらの分科会。これはなるべく、満遍なく発言して貰うための会でした。それから全員集合し大酒宴。朝まで続く…。



場所の設定と研修会の雰囲気がとてもマッチしていたと思います。押しつけではなく、自ら学ぼうとしない限り本当の意味での研修会には成り得ないとずっと思っていました。不備も多々あったとは思いますが、新しいスタイルの研修会の第一歩を踏み出したのではないのでしょうか。それぞれのモチベーションを高めることによって、自分の地域だけではなく、横の繋がりを持ち、高めあってこそ本来のACPCの担う業務ではないでしょうか。

まずは、感想&ご報告でした。みなさん本当にお疲れ様でした。

《ディスクガレージ・代表取締役/中西 健夫》

今回で10回目のACPC人材研修会は、過去一番多くの参加者を迎えた研修会でした。懇親会メインの研修会は、いきなりのボーリング大会で参加者全員が驚いていましたが、日々の仕事を忘れて自然と参加者同士が溶け込んでいる姿がとても印象的で、講演会は講師の方々のお話を参加者全員が興味深く聞き、小テストでは、それぞれの結果に反省している姿がうかがえました。夜の懇親会では、3班に分けた分科会で、各班には講師の方を迎え、お酒を飲みながら自己紹介から個人の仕事の現状を話し合い、今後の課題を改めて認識していました。懇親会終了後も1つの部屋に全員が集まって自由に意見交換をしていました。(同世代でお酒を飲みながら…は、本音が出やすいものなのでしょうか?)

私自身、今回の研修会は従来のものとは違った内容だった為、はじめは戸惑いましたが、参加者みなさんのお手伝いをしながらお話ができ、普段見えない部分が少しだけではありますが見ることができ、勉強にもなり、よかったです。そして、参加者(会員社)との距離を近く感じたことにより、更に皆さんのサポートをしていきたいと思いました。

次回も、皆様の為になる研修会になるようお手伝いをしていきたいと思っておりますので、是非、またのご参加をお待ちしております。最後に、中西社長をはじめ講師でお越し頂いた近藤氏、又、お忙しい中参加して頂いた皆さんに感謝しております。有難うございました。

《ACPC事務局/宮本佳奈》

■基本とは何かを考えさせられました。音楽が好きで、それがわかって欲しくて仲間と語って、わかってもらって、一緒にライブに行き、伝説を目の当たりにして等、忘れていた事を思い出しました。20代の人達は言葉少なめかと思いましたが、「想いは強く!」これからも頑張っ欲しいと思いました。又、若い人が夢を持って頑張っやれる業界にしたいと強く感じます。我々が相手にしているのは商品「物」ではなく、アーティストという感性豊かな「人間」であり、ユーザーは多感な人間達です。私はそれをわかり続ける会社に育てて行きたいと思えます。

《キョードー北陸/後藤新治》

■今まで他のプロモーターと会う機会がなく、同じ職種の先輩方・同世代の方もきちとした形で話をしたり、様々な方の考え方や意見を聞くことができたのが物凄くありがたかく、講演会では、私達のやるべき事、自分達の仕事に対しての姿勢を見直し正さなければならないという事を改めて自覚させられました。そして、「私達はサービス業なのだ!」という気持ちを思い起こさせられました。この研修会は、とても意味ある、これからの自分に自信を持たせてくれる内容の会でした。

《エフ・オー・ビー企画/波多野景》

■今回初めて研修会に参加しましたが、普段、外に出ない自分としては、沢山の先輩方と出会えた事がとても嬉しく、研修会でのテストでは音楽に携わる者としての自覚を再認識させられるものでした。沢山の人間に会い、いろいろな話を聞いていくうちに自分の目標と自信ができました。10年後の自分は何をしているのかをこれからの目標にしていきたいです。

《キョードー東北/原田建樹》

■研修会が終わり、研修会で強く感じた「このままではいけない!」という危機感であったり、「いろいろな事を改善していかなければ!」というような気持ちが、日々の仕事に追われ、今、蔑ろになってしまっています。もう一度ここで気を引き締め直し、研修会での話し合いで出た様々なアイデアや改善策を実行に移せるように努力したいと思います。各地各セクションで仕事をされている方々と知り合えたことは非常に良かったです。今後は仕事でもご一緒できればと思っています。

《ホットスタッフプロモーション/岩田純子》

■研修会に参加し、スケジュールの流れが参加者にだんだんと話しやすい流れになっていて雰囲気も良かったです。又、入社3年位までの社員には普段直接考えなくて良い話や同世代の横のつながりなどを持つきっかけになる場になると思いました。全国の事が視野に入ってくる場に参加することは、普段自分達の地域以外のことが自然と入り、普通だったら2年かかることが1年で進めるようになると思います。又、普段聞けない上の方の話を聞くことによって自分の置かれている状況、これからの状況をより早くから考えるようになり、いい意味での緊張感・責任感が生まれました。

《キョードー西日本 森田幸宏》

# WHO'S NEXT! in the city japan 2002

## in the city japan 2002概要

- 開催日 2002年10月2日[水]～5日[土]4日間 ※2日(水)は前夜祭を開催
- 開催場所 SHIBUYA-AX/Entertainment Review21  
CLUBegg site, TAKE OFF 7/@FUTURE 他
- 主催 (社)音楽制作者連盟
- 共催 (社)全国コンサートツアー事業者協会
- 後援 私的録音補償金管理協会(sarah)/芸団協・実演家著作隣接権センター(CPRA)

有能なアーティストの発掘と音楽業界関係者の交流を目的に、FMPが1999年にスタートさせた音楽コンベンション「in the city japan」は、今年で4回目を迎えます。

今年は10月2日(水)～5日(土)の4日間、会場をこれまでのON AIR EAST周辺ライブハウスからSHIBUYA-AXを中心とした近隣のライブハウス及び渋谷プラザに移し、より多くの関係者の皆様にご参加いただけるように致しました。

内容面でも、UNSIGNED/NEWCOMERアーティストのライブとスペシャルライブ、そしてカンファレンスというメニューに新たにEXHIBITION & TRADESHOWを加え、音楽コンテンツ使用者と我々音楽制作者との交流機会やレーベル運営各社のプレゼンテーション場面の拡大を図ります。また、広報面でも音楽専門チャンネルスペースシャワーTV及びVIEWSIC両局との共同企画によるレギュラー番組「in the city japan」をスタートさせ、在京FM各局とのコラボレーションも積極的に行ったりと、業界内外へのプロモーションも例年以

上到手厚く展開していきます。

このように内容をスケールアップするにあたり、今年はA.C.P.Cとは「共催」という形をとらせていただくことになりました。より密接な協力関係を築いていけたらと思います。何卒ご協力の程、お願い申し上げます。

なお、開催概要等詳細に関してはin the city japan 2002 ホームページ <http://www.inthecity.jp> をご覧ください。  
<in the city japan 2002 運営事務局>

## MIX2002概要

- 開催日 2002年10月12日[土]～14日[月・祝]3日間
- 開催場所 ◎ライブ=コンサートホール、ライブハウスなど(札幌市内中心部10ヶ所程度)  
◎見本市=札幌パークホテル ◎セミナー=札幌パークホテル他
- プログラム ◎ライブ=会期中毎日、ライブを街中で同時多発開催。ジャンル、プロ、アマ、国籍を問わず、多彩なアーティストが出演。  
会場数:1日約10会場×3日間 延べ約30会場/アーティスト数:延べ約120アーティスト  
使用会場:Zepp Sapporo(2000)、ファクトリーホール(1000)、ザナドウ(800)、ベニーレーン24(500)、ベッシーホール(200)、KRAPS HALL(300)、メッセホール(150)他  
◎見本市=音楽コンテンツやIT技術の各種新製品、システムなどを持つ企業群による音楽見本市。  
ブース数 約60ブース  
音楽機器メーカー、レコードレーベル会社、音楽プロダクションを中心に、音楽配信企業や放送、出版社など音楽関連の企業による最新情報のプレゼンテーション。ミニライブ、トークショーや公開放送などのステージイベント  
◎セミナー=見本市ステージを利用した一般来場者向けセミナー、音楽を取り巻く最新事情などから特定テーマをとりあげるセミナーやワークショップを開催。約8講座
- 主催 MIX2002実行委員会  
(北海道音楽関連事業協会/北海道マルチメディア協会/北海道新聞社/北海道テレビ放送北海道文化放送エフエム北海道/エフエム・ノースウエーブ)



今年はやります!「MIX2002」

2000年10月に初めて開催した「MIX2000」。多くの方々にお忙しい中、札幌へお越しいただき、無事終了をすることができました。札幌にこれだけ音楽関係者が集まったことがないのではないかと思います。市内どこへ行ってもパ

スを持った方たちに会うことができました。

2001年は充電期間として一旦休止、そして今年第2回目を開催いたします。2000よりもパワーアップし、参加していただく全ての方々に新しい出会いを提供できるような場を創っていけるよう準備を進めております。音楽フェスティバルとビジネスコンベンションの二つの要素を持つこのイベントは、オーディエンス、ビジネスユーザーともにどのようなメリットが出せるか、出会いやチャレンジの場「MIX」をどう演出していくかがポイントとなります。そのために、今年は①届く広報②MIXならではのライブ③コミュニケーション・スペースを大切に事業を組み立てて行きたいと考えております。

### ①届く広報

主催者が新聞、テレビ、ラジオという媒体社という特性を活かして、アーティストプロモーションを積極的に行います。また、市内レコード店など、音楽ファンが集まる場所にはMIX

を露出していきます。アーティストの音楽性、ターゲットにあわせた媒体展開、常に話題を提供していけるような情報発信をしていきます。

### ②MIXならではのライブ

通常の興業や単独のコンサートはMIXの趣旨ではありません。複数のアーティストによるコラボレーションライブや、通常ではあり得ないバンド編成など、「新鮮で斬新な」ライブを繰り広げます。

### ③コミュニケーション・スペース

せっかく札幌に来ていただくのですから、日頃なかなか話のできない業界関係者に会う、新人アーティストと話をし、見本市出展者と新しいテクノロジーの情報交換をする、ライブをゆっくり見るなど、多くのコミュニケーションをとっていただきたく思います。そのための場所、條件を多数用意します。きっと新しい発見や、ネットワークができるはず。会員のみなさん、MIXで、ススキノで待っています。

<MIX2002実行委員会>

# from A.C.P.C 役員再任



この度、平成14年度通常総会において、役員選挙を行った結果  
右の通り役員が再任されました。

ユーザーの嗜好が多様化するエンタテインメント分野において、生きた音楽を体感できるコンサートへの需要は、ますます高まってきていると実感しています。

ACPCは結成以来、コンサートプロモーターの団体として、コンサートに関する環境の整備とハイクオリティなサービスの提供に努めてきましたが、めまぐるしく変化する日常社会に身を置く一人として、まだまだ改善の余地があると考えております。

今後は、若手を中心とした事業者自身のさらなる向上とコンサート業界の活性化に努め、全国のコンサート会場に足を運んでくださるお客様に対し、これまで以上に充実したエンタテインメント空間を提供していけるよう、取り組んでいく次第です。

ACPC副会長 山崎芳人

- 会長 永田 友純 (有)ホットスタッフプロモーション
- 副会長 山崎 芳人 (株)キョードー東京
- 小島紳次郎 (株)ウエス
- 常任理事 瀬川 忠雄 (株)ノースロード・ミュージック
- 善木 準二 (株)夢番地
- 辻居 幸一 中村合同特許法律事務所・弁護士
- 宮垣 睦男 (株)デューク
- 理事 桑原 宏司 (有)サンデーフォークプロモーション
- 鈴置 雄三 (株)サウンドクリエイター
- 高橋 章 (有)アイランド
- 反畑 誠一 音楽評論家
- 千葉 茂 東京都専修学校各種学校協会・理事
- 土江 啓介 (株)宝島社
- 中西 健夫 (株)ディスクガレージ
- 野地 秩嘉 作家
- 疋田 聰 東洋大学・教授
- 室田 正則 (株)キャンディー・プロモーション
- 横井 俊夫 東京工科大学・教授
- 渡辺 真理 法政大学・教授
- 監事 北島 匡 (株)ビッグイヤー・アンツ
- 藤田 等 (有)エフ・オー・ビー・企画
- 渡部 秀一 渡部会計事務所
- 顧問 内野 二郎 (株)ミュージックリーグ
- 黒田 益弘 (株)ソーゴー東京

理事・事務局長 山本 幸治 (社)全国コンサートツアー事業者協会

著作物の一括申請と使用料徴収を開始して1年経過しました。この間共同歩調のとれない会員社があったことは残念です。この報告のあった幹部会では、「知的所有権に関わるビジネスを行う事業者としていかなるものか」という発言がありました。

ACPCはコンサートプロモーターの権利と環境整備を目指し結成して丸12年になります。この間JASRACとのさまざまなやりとりを経たことでさきほどの発言につながるのだと理解しています。

ACPCではこれから①申請②演奏曲目報告③徴収・分配などの一層の効率化をはかり、コンサートに関するデータの蓄積をし、21世紀に即したエンタテインメントの形を作っていかなければなりません。

ACPC常任理事 善木準二

## プロモーターのためのチケット販売プラットフォーム



プロモーター自社販売チケットの予約から配送までをローコストで実現いたします。

PC (インターネット)	▶	<a href="http://www.ticket-navi.ne.jp/">http://www.ticket-navi.ne.jp/</a>	チケットナビ
J-PHONE (J-SKY Web)	▶	メインメニュー▼Jスカイメイン▼チケット・オークション	チケットナビ
au (EZ Web)	▶	トップメニュー▼EZ インターネット▼ショッピング	チケットナビ

インフォコム (株) モバイル・インターネット本部 インフォコムコース部 チケットナビチーム  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-11三井住友海上駿河台別館4F  
URL <http://www.ticket-navi.ne.jp/> TEL.03-3518-3357 FAX.03-3518-3930

### 予約受付窓口開設

携帯電話・PCから24時間  
受付可能!



### 入金処理手続き

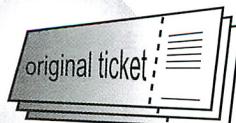
コンビニ振込・クレジットカード  
利用のオンライン決済対応!

**コンビニ**  
主要12社33000店舗取扱い  
セブンイレブン/ローソン  
ファミリーマート/etc...

**クレジットカード**  
VISA / MasterCard

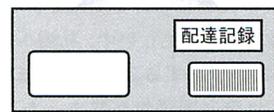
### チケット発券/印字処理

プロモーター様ごとのオリジナル  
デザインチケットを使用!



### チケット発送!

配達記録郵便/弊社特製封筒  
にて、ユーザーにお届けします



## 【各種保険のご案内】 ACPCは会員各社向けの保険を取り扱っております。

コンサート保険…年間通しての保険であり、スタッフ及び観客に対する保険です。

コンサートツアー補償制度…コンサートツアー単位での保険であり、ツアー中のアーティスト及びスタッフに対する傷害保険です。

興行中止保険…偶発な事故（悪天候、アーティストの不出演等）により公演が中止された場合に主催者がすでに支出している費用を補償する保険です。

※その他、会員各社のニーズに合った保険にも対応しておりますので、お気軽にACPC事務局までお問合せ下さい。

## 【フラワーシップ「花の通信配達」のご案内】

専用の発注書にご希望のお花、ご予算（¥3,000～）などをお書きの上、ACPC事務局へFAXして頂くだけで、全国どこへでもお客さまのお気持ちをお届けできるサービスです。ACPCへのご注文により、ご希望されたご予算に送料込みの料金と消費税でご請求させていただきます。

ギフトの種類は花束やアレンジメント、鉢物、開店祝いのスタンド花、冠婚葬祭用に至るまで、あらゆる用途にお応え致します（専用カタログからご用途に合わせてお選びいただけます）。お花に添えるメッセージも24文字までお付けすることができます。是非、こちらのサービスをご利用くださいますよう、お待ちしております。

お問合せはACPC事務局まで。…………… TEL **03-3445-8720** FAX **03-3445-8721**

第6回還付金報告

合計金額: ¥6,791,213

対象公演: 平成14年1月～3月開催公演(平成13年12月～平成14年2月申請公演)

参加会員数: 39社(正会員)

# コンサートプロモーターの皆様 即戦力を探すなら **Musicman**

**Musicman** は **Musicman-NET** から生まれた、音楽業界最強の求人メディアです。



ACCESS▶▶ [www.musicman-net.com](http://www.musicman-net.com)

☆お申込みから1～2日程度で即掲載!

☆圧倒的な情報量と告知力で貴社を最大限にアピール!

☆学生から現役業界人まであらゆる求職者層に対応!

【初回はお試し価格】 **¥50,000-** / 4週間

お申込み受付後、弊社の担当スタッフが責任を持って取材し、ご相談の上、求人情報ページを作成いたします。面倒な手間は一切かかりません。(掲載料には、原稿制作・写真撮影・画像処理が含まれております。)

お問い合わせ ☎ **03-5430-1155** ✉ [info@musicman-net.com](mailto:info@musicman-net.com) (担当:山口由季)

エフ・ビー・コミュニケーションズ株式会社  
〒155-0033 東京都世田谷区代田2-19-2 ☎03-5430-1155 ✉info@musicman-net.com



商標登録 No.4335859  
商品名商標登録 No.4414502  
国際特許出願中

# TELE-PAUSE テレポーズ

みんなにうれしい♪



医療機器装着者  
医療機器に  
影響が無いので  
うれしい!



観客  
公演中に  
着信が無いので  
うれしい!



興行主催者  
携帯電話による  
問題が無いので  
うれしい!



出演者  
著作権・肖像権が  
守れて  
うれしい!

## 【携帯電話等機能抑止装置】

- 目の前の光景をリアルタイムに外部へ送信できる次世代携帯電話から、著作権・肖像権を守ります。
- ワイヤレスマイクシステム（A帯・B帯）に一切影響を与えません。

**MACROS JAPAN Inc.**

〒103-0006

東京都中央区日本橋富沢町10番

MY ARK日本橋 8F

TEL 03-3666-6767 (代表)

FAX 03-3666-6711

E-Mail [info@macros.co.jp](mailto:info@macros.co.jp)

URL <http://www.macros.co.jp>

# 高橋 章

インタビュー：山本幸治 (ACPC)



最初にこの業界に入ったきっかけは、現ポニーキャニオンの前身のポニーなんです。その当時は車にカーステレオが載り始めた時期で、それを開発して作って売ることをはじめたテープ専門の会社なんです。それで企画制作部著作権課というところに。

なぜ企画制作部著作権課に入ったかというと、僕は就職試験の時に、入りたい一心で何か売りを作らなければいけなかったんです。たまたま大学の3、4年生のゼミの科目の中で知的所有権というのがあったんです。その主宰されている担当の教授が紋谷暢男先生で、一応就職試験の時に、人事の方からとにかく何か売りを作って来い、先生の推薦状をもらって来いと言われて。そのきっかけがあったから著作権の仕事についていたという流れなんです。

ポニーでは丸5年著作権の仕事をしていました。当時、シンガーソングライターの出現ということで、一つのジャンルとしてニューミュージックの前身であるフォークソング、そこで仕事をしている人たちと接点ができたのがきっかけですね。

僕にとっては、ユイ音楽工房、ユイ音楽出版との出会いになるわけです。ユイは丸6年。職籍は出版の方に身を置いて。もちろんプロダクションの工房の方もありますので、アーティストのマネージメントに関わる契約もやらせて頂きました。現場で起きていることをビジネスに変えていくことでは契約であったり、それからこの業界特有の仕事としては印税というのが契約の中で必ず出てきますから、それを担当させてもらったんです。その中でやっぱり次の展開では、この仕事の業者になって多くの方の仕事をサポートできる方法が取れないかということで独立しました。これはやはり後藤社長のおかげです。

僕の仕事は法律マター、後はお金の税務処理のマター、両方に深く関わっていくことは明らかなんですけど、自分の

置き方、コンセプトというのは実務として制作・宣伝・マネージメントの中にある著作権実務と位置付けているんです。著作権の仕事というのは極端な例としては音楽出版社というのが、一番わかりやすいということで、著作権ビジネスがあたかも音楽出版社にあるような見方をしがちなんですけど、実際はそうではなくて、もともとのルーツはマネージメントの中にあるんだというのが、僕自身の今までの経験から得た考え方なんです。まずアーティストと事務所の契約在りきなんです。そのマネージメントする事務所がアーティストの代わりになってレコードであったりコンサートであったり放送出演であったり、それから書籍の出版であったりというところで、全部そこでのビジネスのやりとりが契約で、権利関係という形に置き換えられ、著作権という仕事＝マネージメントの実務処理と受け止めているんです。

アーティストから起きるものとして、作品と実演、それから作品と実演をまとめた形の原盤、これがビジネスをする上での権利関係を契約の中で考えていく基本的な要素だと思います。シンガーソングライターというのはソングライターという部分では作詞作曲します。それを自己表現で自分が作品を演奏し、歌います。最近ではセルフプロデュースという言葉があるくらいです。自分自身で音楽そのものを自己完結するアーティストがすごく増えてきているわけです。それをマネージメントするのがプロダクションということですから、プロダクションも当然その意味では音楽出版者として、音楽作品の作詞作曲の著作権のマネジメントも絡んでくるし、それから実演というのはライブの部分もあるスタジオ収録、CD化する場面の実演もあるし、放送の実演もあるし。最近ではインターネット・ライブみたいなこともあるわけで、媒体毎に広く行われます。作品と実演はアーティストの作業になる一方で、それを今度は制作環境を整え、音にすると映像にして原盤を作り上げていくという場面があるじゃないですか。今も事務所がプロデュースワークとして原盤制作をやったり、あるいはレコード会社が原盤制作を行ったりしているわけです。だからもともとの姿というのはやっぱり作品であり、実演、原盤制作、この3つがポイントで、いずれも表現活動ですよ。表現に対するビジネスとしての処し方、それを権利処理という言い方をしていると思います。

今はインディーズがこれだけ市民権を得ていて、マネージメント、プロダクション・ビジネスの中でインディーズでレコード会社機能みたいなことをやるというのは日常茶飯事となり、ほとんどのプロダクション、音楽出版社ですらインディーズでCDを出していくというのは当たり前のようにやっているわけです。僕の実務のなかでは、例えばプロダクションが権利者として音楽出版者の事業でJASRACに作品を預ける、管理してもらう。一方、レコード会社の顔で使用者になると、今度はJASRACに楽曲を使わせてもらう立場になるわけです。立場は両方ですから、権利者側としてJASRACとコンタクトを持つ場面と、使用者としてJASRACから許諾を得て使

わせてもらう場面をやっていますね。楽曲の件に関して言えば、まさしく著作権ビジネスと言われるのは、使用者においてもそうだし、権利者においてもそうですね。

著作権という観点から音楽ビジネスとかコンテンツ・ビジネス、これから映像の方にすごく興味があるので、映像関係をもっと知りたいと思っています。メディアの進化というのは、過去テレビの出現から始まって、いろいろな媒体で、ますます映像化していくというところがハッキリわかりますね。それを著作権という権利関係を軸にしてどうビジネスを見ていくか、あるいは業界を見ていくか。その言葉の広がりの中に、自分としてはエンターテインメントというのがキーワード。著作権という仕事の目からエンターテインメントを見ていきたい。その中のライブとか、著作権の中で根源のルーツは大衆を前にしてステージでアーティストが作品をどう自己表現するかというところから始まるわけですから、その意味ではACPCに加盟しているプロモーターの方々の仕事、ステージを大衆に提供していくという仕事が僕ら著作権に携わる人間にとっても、すごく魅力がある仕事。一番大もとのビジネスの出発点だということ、この部分がやはり関心の的になるところですね。

僕は著作権の仕事をやっている、これから媒体がますます多様化していくとしても、やっぱり音楽というのはリアルティが最優先すると思うんです。要するに生のライブで伝えるというコミュニケーション手段が最も現実的な方法で、最も歴史のある手段で、大衆はリアルにアーティストから大きな感動を得ることができます。だから権利ビジネス自体がリアルであるべき。もっともリアルティというものに対する価値観というのが注目されていいんじゃないかと。やっぱりリアルティ・ビジネスがあってこそ、権利ビジネスの原点なんだというところをしっかりと見つけたいですね。著作権のルーツは音楽の表現そのものにあるわけだから、アーティストはもちろん、作る人たち、関わる人たち、権利の果実がそこにスムーズに還元されるような流れがあるべきじゃないかなと思いますね。

- 経歴
- 1971年 成蹊大学法学部法律学科卒業。  
(株)ポニー入社、企画制作部著作権課配属。
- 1976年 (株)ポニー退職、ユイ音楽出版入社。  
音楽出版社・プロダクションにおいて、アーティスト契約を初めとする諸契約と著作権実務を担当。
- 1982年 (株)ユイ音楽出版退職、  
著作権管理会社(有)アイランド設立。  
今日に至る。
- その他
- 1996年より2002年3月迄  
学校法人千代田学園、  
千代田工科芸術専門学校非常勤講師(著作権)。  
1999年より、  
学校法人片柳学園、  
日本工学院専門学校非常勤講師(著作権)。

かけがえのないひとときを、  
ともに分かちあう。  
その音楽を生み出した  
作詞家、作曲家への  
感謝の気持ちも、  
どうぞ忘れないでください。



いつまでも  
大切に  
したいもの。